

# あれから 22 年 !

『もし、自分の家族が殺され、現場に犯人の指紋及び DNA が残されていた』として・・・。

指紋からは犯人の属性（性別・年齢・身体特徴）はわかりません。

しかし、DNA からは属性（似顔絵までも）が解明できるという研究が進んでいる。米国では DNA から似顔絵作成して、多くの事件が解決しているという。（裏面参照）

日本は、DNA 型（個人識別）を活用しているが、属性部分は「究極の個人情報」なので、踏み込まないという警察庁見解になっている。

《なぜ、米国のよう!に DNA 型捜査と共に DNA 捜査（属性活用）が進まないのか?》

大きな違いは、DNA 捜査に関する法体制が日本は整っていない点にある。

日本は、法律ではなく、「国家公安委員会規則」及び「警察庁通達」により、DNA 型（個人識別）の範囲で捜査に活用している。

【被害者の声なき声 !!

遺族の<sup>わら</sup>藁をもすがる訴え】・・・。

医学的に犯人の属性解明が進展している中、なぜ犯人の「究極の個人情報」のみ尊重されるのか？

教えてください!!

あなたなら どう答えますか・・・？

～世田谷事件の解決を願う有志一同～

2017年にDNA鑑定による似顔絵作成で解決された2009年の事件(米国NBC放送)



(被害者の爪に残されたわずかな皮膚片から DNA 抽出、6 年後 DNA から似顔絵作成公開。似た人物の情報から犯人逮捕。)

これは、DNA プロファイルに基づいてコンピューターで生成されたスケッチです。

犯罪現場で収集された DNA で作成され、NBC ナイトリーニュースで初めて見られたティンズリー事件の新しい合成物は、ヨーロッパ系のヘーゼルまたは緑色の目と茶色または黒の髪を持つ色白の男性を示しています。

Detailed Ancestry	
Region	Percent
Central East Europe	70.47%
Northwest Europe	29.11%
East Europe	0.42%

Sex: Male ♂  
 Skin: Very Fair / Fair  
 Eyes: Hazel / Green  
 Hair: Brown / Black  
 Freckles: Few / Some

Police Estimates: Age: 45-55 Height: Unknown Weight: Unknown

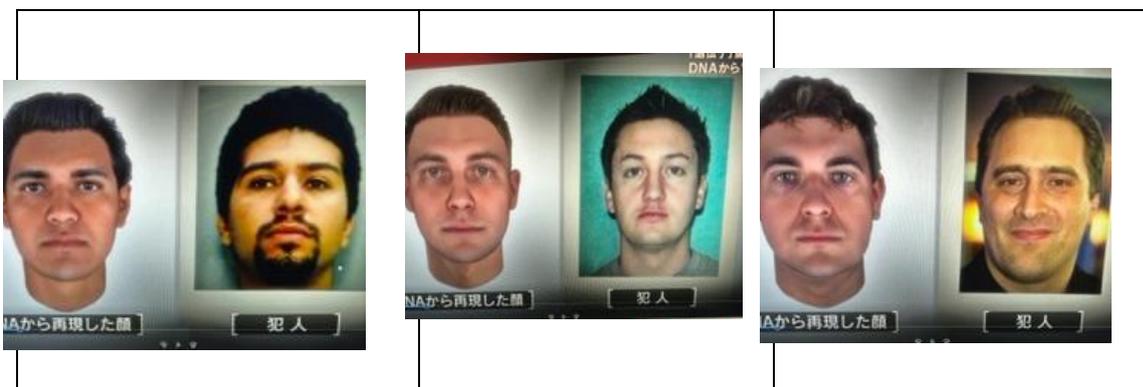
© 2015 Parabon NanoLabs, Inc. All Rights Reserved. <http://Parabon-NanoLabs.com/Snapshot>

「目の色や髪の色などの身体的特徴はすべて DNA に書かれています」と、パラボン (DNA 研究所) のバイオインフォマティクスディレクターであるエレン・マクレイ・グレイタックは述べています。

「そして、DNA を青写真のように使用して、その情報を見つけて予測しています。」



○ 参考「DNA から似顔絵が作成されて検挙された事例」



○ 2015年6月30日NBCニュース

『DNA に顔を向ける:新しい技術がコールドケースに希望を与える方法』ケイトスノー:アナ  
 犯罪現場で見つかった DNA を収集し、データベースと比較します。(DNA 型照合)

しかし今、新しいテクノロジーは、何十年にもわたって「コールド」であったケースを解決するのに役立つ可能性があります。

バージニア州の **Parabon** 会社は、DNA を使用してスケッチを生成し、警察に容疑者を探すためのツール【スナップショット=似顔絵】を提供する新しい方法を提供し始めました。』